

2018年度 都市政策フォーラム（関西）

都市ガバナンスの公民連携

～まちづくりに生きる文化芸術～

主催 公益財団法人日本都市センター
後援 公益財団法人大阪府市町村振興協会
日時 平成30年8月7日（火） 13:30～17:00
会場 マッセOSAKA 大ホール
（大阪府中央区大手前3丁目1-43 大阪府新別館南館5階）

参加費 無料
趣旨

都市自治体が持続的な公共サービスを提供していくために、公民連携がますます重要となっている。文化芸術振興分野においても、多様な公民連携が広がりを見せており、こうした動きは、公共サービスの提供において行政が担う役割は何かを改めて問いかけるものでもある。

文化芸術を通じた地域の活性化を目的とした（広域圏で開催される）アートフェスティバルが注目されているように、今や、文化芸術は、地域の存立基盤であり、人を集わせ、地域の価値を高め、住民の生きがいやアイデンティティの形成、そして“まちづくり”に繋がるものが共通認識となりつつある。

そこで、本フォーラムでは、文化芸術を通じた公民連携のあり方について議論する。

プログラム

13:30	開会	
13:35～14:05 (30分)	講演①	工藤 裕子 中央大学法学部教授 テーマ：文化政策の今後と公民連携（仮）
14:05～14:35 (30分)	講演②	松本 茂章 静岡文化芸術大学・大学院文化政策研究科教授 テーマ：都市自治体の文化芸術ガバナンス（仮）
14:35～15:05 (30分)	講演③	藤野 一夫 神戸大学大学院国際文化学研究科教授 テーマ：「文化・芸術を活かしたまちづくり」は何をめざすのか？（仮）
15:05～15:15 (10分)	休憩	
15:10～17:00 (105分)	パネルディスカッション・ 質疑応答	（コーディネーター） 小西砂千夫 関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授 （コメンテーター） 大西 秀人 (公財)日本都市センター理事長・高松市長 （パネリスト） 工藤 裕子 中央大学法学部教授 松本 茂章 静岡文化芸術大学・大学院文化政策研究科教授 藤野 一夫 神戸大学大学院国際文化学研究科教授
17:00	閉会	